

項目	事項	内容	状況	中国地整		気象庁		岡山県		岡山市		津山市		備前市		瀬戸内市		赤磐市	
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
1)ハード対策の主な取り組み																			
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策																			
		<吉井川> ・流下能力対策	実施状況	流下能力対策	R2年度														
		・流下能力対策	今後の予定	整備済	整備済														
		<県管理河川> ・堤防や拡幅等の整備 ・流下能力を阻害する堆積土の掘削や樹木の伐採 ・変状などが確認された箇所 の速やかな修繕	実施状況					広域河川改修事業21河川、総合流域防災事業2河川をはじめ、県単独事業においても堤防や河道拡幅等の整備を実施 H30年7月豪雨により大きな浸水被害のあった河川では、樹木伐採や河道掘削を緊急的に実施 堤防点検等を実施し、緊急の修繕が箇所の対策を実施	発災後から 随時 (主には非 出水期)										
			今後の予定					現在の取り組みを継続	継続実施										
■危機管理型ハード対策																			
		<吉井川、金剛川> ・天端の保護	実施状況	天端の保護	H28年度														
			今後の予定	整備済	整備済														
		<県管理河川> ・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	実施状況					優先順位の高い河川の合流点等において天端舗装を実施	R2年度										
			今後の予定					優先順位の高い河川の合流点等において天端舗装を実施	～R3年度										
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																			
		・雨量・水等の観測データ及び 洪水時の状況を把握・伝達する ための基盤の整備	実施状況	事務所HP公開ライブカメラ(71箇所) 整備済	整備済			危機管理型水位計等の増設(97基) 令和元年度までに78基、令和2年に19基増設(増設中) (吉井川水系 30基、旭川水系 12基、高梁川水系 19基、その他 36基)	～R2年度										
			今後の予定	整備済	整備済			令和2年度増設箇所については、令和3年度の出水期までに公開予定	R3年度(予定)										
		・防災無線の改良、防災ラジオ等の配布	実施状況					緊急告知ラジオを市有施設、町内会、自主防災組織などに配布 防災無線(アナログ、デジタル)、緊急告知ラジオ放送設備の改良 緊急告知ラジオの一般販売	H26～R1年度 H31～R2年度 R2年度	合併旧町村においては防災無線を設置緊急告知ラジオについては、無償配布を継続するとともに、販売事業を実施	R2年度	R2～ デジタル同報系防災無線の整備 工事着手	R2年度～ H31	消防庁にアドバイザーの派遣を要請	H30年度	実施済み FM無線中継局(緊急告知ラジオ用)の整備 移動系代替整備として、MCA無線を導入 緊急告知ラジオ配布	H30年度 R1年度 R2年度～		
			今後の予定					継続実施	継続実施	事業継続	継続実施	事業継続	～R4年度	将来構想を策定 ○情報伝達手段の整理・改良 ○多様な情報取得手段の普及啓発 防災情報伝達システムの整備 設計・施工に着手	～R1年度 R2年度～ R3年度	緊急告知ラジオの配備促進	R3年度～		
		・重要水防箇所の見直し	実施状況					令和元年度の出水期前に重要水防箇所の見直しを実施(堤防箇所及び一連区間、漏水箇所、陸隔等の追加) 令和2年度の出水期前に重要水防箇所の見直しを実施(堤防点検結果や陸隔の適正化に伴う廃止等)	～R2年度										
			今後の予定					GISを活用した情報高度化の運用開始 令和3年度の出水期前に重要水防箇所の見直しを実施(堤防点検結果や陸隔の適正化に伴う廃止等)	R3年度～										
		・避難活動や水防活動を支援するための水防資機材等の配備	実施状況	保有する水防資機材の状況を平時管理し、必要に応じて補充	R2年度			定期的に各水防倉庫における水防資機材の備蓄状況を確認し、不足等が生じれば適宜補充を行っている	H29年度～	水防倉庫の資機材点検、補充 町内会への備蓄土土のう提供 一般市民への土のう配布	R2年度	消防施設の整備や、自主防災組織の資機材の整備補助	R2年度	実施済み 避難活動や水防活動を支援するための水防資機材等の配備	R2年度	実施済み	H29年度～	市の職員を中心に水防資機材の確認、資機材を使った水防訓練を行った	H30年度
			今後の予定	継続実施	継続実施			現在の取り組みを継続	継続実施	継続実施	R3年度	継続実施	継続実施	不足した資材確保の継続実施	継続実施	適宜不足分や追加分の補充等を継続している	継続	不足した資材確保の継続実施	継続実施
		・円滑な避難行動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水機、CCTVカメラの設置	実施状況	危機管理型水位計(3水系で32箇所)や簡易型河川監視カメラ(3水系で94箇所)設置済	～R元年度			<危機管理型水位計等の増設(97基)> 令和元年度までに78基、令和2年度に19基増設(増設中)。(吉井川水系 30基、旭川水系 12基、高梁川水系 19基、その他 36基) <量水機> 水位計に合わせて設置 <河川監視カメラの増設(67基)> 令和元年度までに41基、令和2年度に26基増設(増設中) (吉井川水系 18基、旭川水系 19基、高梁川水系 14基、その他 16基)	～R2年度						実施済み	H30年度			
			今後の予定	整備済	整備済			<水位計・カメラ> 令和2年度増設箇所については、令和3年度の出水期までに公開する予定	R3年度(予定)						実施済みのため現時点では今後の整備予定無し	予定なし			
		・河川管理者と道路管理者が協力し、堤防を活用した避難階段を整備	実施状況	河川・道路管理者が連携し避難階段を整備	H29年度														
			今後の予定	整備済	整備済														
		・ダム再生の推進(操作規則の再検討、治水機能の増強の検討)	実施状況	令和2年5月29日治水協定を締結済	R2年度			操作規則等の点検を実施	～R1年度										
			今後の予定	引き続き洪水調節機能の強化に向けた取組を推進	R3年度～			操作規則等の変更	R3年度(予定)										
		・樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保(樋門や水門等の無動力化)	実施状況					操作実施者の負担軽減や緊急時の迅速かつ確実なゲート開閉等を目的とし、無動力化(フラップゲート化)を実施	R2年度										
			今後の予定					今後も樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保のため、関係機関との連携を図る	R3年度～										
		・河川管理の高度化の検討(陸上・水中ドローンや全天候型ドローン)	実施状況					先行事例の情報収集等	～R2年度										
			今後の予定					引き続き、先行事例の情報収集・研究に努める	R3年度～										
		・内水の排水活動に資する基盤等の整備	実施状況					過去の被災状況、流下能力、土地利用状況などを見ながら、緊急性や必要性の高い箇所から推進 H30年7月豪雨により大きな浸水被害のあった河川では、樹木伐採や河道掘削を緊急的に実施	発災後から 随時 (主には非 出水期)	町内会への可搬式ポンプの無償貸与	R2年度								
			今後の予定					現在の取り組みを継続	継続実施	継続実施	R3年度								

項目	事項	内容	状況	美作市		和気町		鏡野町		勝央町		奈義町		西栗倉村		美咲町	
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
1)ハード対策の主な取り組み																	
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策																	
		<吉井川> ・流下能力対策	実施状況														
			今後の予定														
		<県管理河川> ・堤防や幅等の整備 ・流下能力を阻害する堆積土の掘削や樹木の伐採 ・変状などが確認された箇所の速やかな修繕	実施状況														
			今後の予定														
■危機管理型ハード対策																	
		<吉井川、金剛川> ・天端の保護	実施状況														
			今後の予定														
		<県管理河川> ・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	実施状況														
			今後の予定														
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																	
		・雨量・水等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備	実施状況											雨量計増設・河川監視カメラ設置位置の検討、仕様作成	R2年度		
			今後の予定											雨量計増設・河川監視カメラ設置雨量計・河川監視カメラシステム更新と公開	R3年度		
		・防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布	実施済み	H30年度	実施済み	H28年度			防災行政無線デジタル化施工済	H29年度	防災行政無線に加え、光電話による情報周知を運用中 防災行政無線機の故障対応	R2年度	防災行政無線が担っていた機能をFM告知放送へ移行 ラジオ機能を持ったFM告知機を全戸設置	～R1年度	IP告知無線機の機器更新実施。 町全体の80%実施済		～R2年度
			継続実施	継続実施	電波が不安定な地区に対して、IP電話などを配布する	～R2年度			移動系無線機(デジタル簡易無線機)の増台(20台→32台)	R3年度	防災行政無線機の故障対応	継続実施	FM告知機の追加設置・故障対応	継続	新規設置 継続		継続実施
		・重要水防箇所の見直し	実施状況														
			今後の予定														
		・避難活動や水防活動を支援するための水防資機材等の配備	消防施設整備や、自主防災活動の補助金 可搬式排水ポンプの整備	～R2年度	和気町備蓄計画に基づき、水防資材の購入・配備	H30年度			資材確認実施	R2年度							
			継続実施	継続実施	目標数が揃うまで実施予定	継続実施			継続実施	継続実施							
		・円滑な避難行動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水機、CCTVカメラの設置	今年度、河川監視カメラ19台を従来型から赤外線タイプのものに更新	R2年度					運用中2箇所	R2年度	町内に県管理のCCTVカメラ1カ所増設	R2年度			令和元年度に河川カメラの更新、新設 (更新10カ所、新設5カ所) カメラデータについては、みさきTVデータ放送で、静止画像、ライブ配信、美咲町HPでも情報提供。		～R1年度
			継続実施	継続実施					継続	継続実施	継続	継続実施			雨量計の新設、更新実施の予定(3カ所)		R3年度以降予定
		・河川管理者と道路管理者が協力し、堤防を活用した避難階段を整備	実施状況														
			今後の予定														
		・ダム再生の推進(操作規則の再検討、治水機能の増強の検討)	実施状況														
			今後の予定														
		・樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保(樋門や水門等の無動力化)	実施状況														
			今後の予定														
		・河川管理の高度化の検討(陸上・水中ドローンや全天候型ドローン)	実施状況														
			今後の予定														
		・内水の排水活動に資する基盤等の整備	実施状況														未実施
			今後の予定														R1年度
																	R3～
																	一級河川 吉井川沿川での排水掃除ポンプの設置3カ所、水路等整備1カ所計画(下水工事関連)

項目	事項	内容	状況	中国地整		気象庁		岡山県		岡山市		津山市		備前市		瀬戸内市		赤磐市		
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	
2)ソフト対策の主な取り組み「通り来る危機を認識した的確な避難行動のための取り組み」																				
■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等																				
実施状況	実施状況	想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーション(吉井川/金剛川)	想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を公表済	H29年度																
				公表済	公表済															
今後の予定	今後の予定	想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の作成・公表(岡山県管理区間)						20河川の洪水浸水想定区域図を公表済(吉井川水系 8河川、旭川水系 4河川、高梁川水系 3河川、その他 5河川)	～R2年度											
実施状況	実施状況	5河川の洪水浸水想定区域図を作成・公表(R3)	5河川の洪水浸水想定区域図を作成・公表	R3年度～				5河川の洪水浸水想定区域図を作成・公表	R3年度～											
実施状況	実施状況	幹事会で広域避難の協定事例を構成機関へ共有済	広域避難計画の作成、広域避難体制の構築に向けて、情報共有を実施	R2年度	未実施	H30年度		広域避難に関する協定のひな形を作成し、市町村に提示している。	R1年度～	未実施	R2年度	検討中	R2年度	未実施	R2年度	未実施	H30年度	検討中	R1年度～	
				R3年度～	未定	R3年度～		広域避難を検討する市町村に対し必要な情報提供を行う	継続実施	「岡山県災害時相互協定」と整合をとりながら策定、検討	継続実施	検討を継続	～R3年度	未定	未定	検討を継続	～R3年度	検討を継続	R3年度	
実施状況	実施状況	避難場所等の有効性の検証や広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知、及びまごまちことハザードマップ整備						20河川の洪水浸水想定区域図を関係市町に提供済	～R2年度		広域避難計画策定後、ハザードマップの作成を検討	H29年度～R2年度	検討中	R2年度	検討	R2年度	広域避難計画策定後、ハザードマップを作成、整備	H29年度～	検討中	R1年度～
今後の予定	今後の予定	5河川の洪水浸水想定区域図を作成・提供(R3)	5河川の洪水浸水想定区域図を作成・提供	R3年度～				5河川の洪水浸水想定区域図を作成・提供(R3)	～R3年度		広域避難計画策定後、ハザードマップの作成を検討	継続実施	検討を継続	～R3年度	広域避難計画策定後、ハザードマップを作成、整備	R3年度	最新の各種災害リスクや防災情報をまとめた冊子タイプのハザードマップを全戸配布済み	R2年度	検討を継続	R3年度
実施状況	実施状況	減災協の場等を活用し、全国の避難確保計画作成状況等を構成機関へ共有済	避難確保計画作成状況等を構成機関へ共有済	R2年度				対象施設の水害リスク(浸水深・浸水継続時間)を調査した	H29年度～		「避難確保計画の策定支援講習会」を実施(8回)	～R2年度	避難確保計画の作成を促進	R2年度	全ての要配慮者利用施設において計画が作成できるよう支援していく	R2年度	最新の各種災害リスクや防災情報をまとめた冊子タイプのハザードマップを全戸配布済み	H29年度～	要配慮者利用施設における避難訓練を実施済み	H30年度
				R3年度				調査した水害リスクを整理し、市町村等を通じて施設管理者等に情報提供する	～R3年度	継続実施	R3年度	継続実施	～R3年度	全ての要配慮者利用施設において計画が作成できるよう支援していく	継続実施	対象となる施設設置中終了後に該当施設に対し通知や支援等を実施	～R4年度	引き続き実施	継続実施	
実施状況	実施状況	ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用	ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用	継続実施				おかやま県統合型GISにより、防災情報の周知に努めている。	H28年度～	未実施	R2年度	市ホームページからリンクを継続	R2年度	未実施	R2年度	実施済み	H30年度	未実施	R1年度	
				継続実施	継続実施			防災情報の周知について、積極的な広報に努める	継続実施	HPでの避難所情報などを分かりやすく見やすいものに改善	継続実施	継続実施	継続実施	検討	継続実施	未定	～R2年度	未定	R3年度	
実施状況	実施状況	内水の排水活動に資するソフト対策						内水ハザードマップの作成、配布、HP掲載、出前講座等での周知	R2年度											
■情報の伝達・発信																				
実施状況	実施状況	避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上	水系一体のタイムラインの精度向上のため、検討会を複数回実施	R2年度		各自自治体の作成支援	H29年度～	台風接近時には、気象台が発表する情報を説明会で確実に伝達し、市町村と協働でタイムラインを作成	H30年度	運用に関する検討会やワークショップを実施済み	R1年度	タイムラインの精度向上	R2年度	未実施	R2年度	タイムラインの精度向上	H30年度	台風接近時には、気象台が発表する情報を説明会で確認し、県と協働でタイムラインを作成している	継続実施	
				R3年度～	継続実施	継続実施		水害タイムラインへの反映を考慮して市町村の避難勧告型タイムラインの発表を呼びかける	～R3年度	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	タイムラインの精度向上検討	R3年度	○避難勧告等発令のガイドラインの見直し	～R2年度	早めの避難勧告などの発令に備える	継続実施	
実施状況	実施状況	多機関連携型タイムラインの拡充	水系一体のタイムラインに拡充済	R元年度		水系一体のタイムラインに拡充	R1年度	吉井川水害タイムラインの策定	R2年度	水系全体の自治体も参加する体制に変更した	R1年度	吉井川水害タイムラインの運用	R2年度	未実施	R2年度	吉井川水害タイムライン検討会に参加	R1年度	吉井川・旭川水害タイムライン検討会に参加	R1年度～	
				R3年度～	PDCAサイクルにより改善	PDCAサイクルにより改善	R3年度～	吉井川水害タイムラインの拡充及び改善	R3年度	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	検討	R3年度	今後も関係機関との連携を積極的に検討していく	継続実施	今後も関係機関との連携を積極的に検討していく	R3年度	
実施状況	実施状況	タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練	未実施	R2年度		自治体訓練への参加や支援	H29年度～	リエゾン(情報連絡員)を市町村に派遣し、水害特別訓練を実施した	R1年度～	開始	吉井川水害タイムラインを運用開始	R1年度～	未実施	R2年度	未実施	R2年度	タイムラインの策定・精度向上検討	H29年度～	赤磐市総合防災訓練を実施し、時系列に沿った実動訓練を実施	H30年度
				R3年度～	継続実施	継続実施		引き続き、市町村の実情に応じた避難訓練等と連携した訓練を行う	継続実施	継続実施	未定	未定	検討	R3年度	未実施(新型コロナウイルス感染症流行に伴い市総合防災訓練は中止)	R2年度	赤磐市総合防災訓練を実施予定	R3年度		
実施状況	実施状況	警報等に関連して「危険度を色分けした時系列」や「警報級の現象となる可能性」の情報提供開始及びメッシュ情報の充実化(地域に迫る危険の把握をサポート)等水害危険性の周知促進	水害リスクラインによる水位情報の提供	R2年度		警報等における危険度の色分け表示	H29年度～	水防協議会(R1.5.15)において、水位周知河川の指定区域の変更を公表(1河川)	～R2年度											
				R3年度～	未定	R3年度～		水位周知河川の新規指定を検討	R3年度～											
実施状況	実施状況	危険レベルの統一化等による災害情報の充実と整理、洪水予報や水位周知情報の発表形式の見直し等を行う	洪水予報や水位周知情報の発表形式の見直し済	R元年度		洪水警報、注意報の基準見直しを行い洪水予報の実施要領の改正をおこなった	R2年度	令和元年度、水位周知情報(氾濫警戒情報、氾濫危険情報)の通知様式に警戒レベル相当や水位状況のボンチ絵を追加するなど見直しを行った	R1年度～											
				R3年度～	必要に応じて見直しを行う	R3年度～		現在の取り組みを継続	継続実施											
実施状況	実施状況	洪水時における河川管理者からの情報提供(ホットラインの構築)	ホットライン構築済	構築済				H30年度出水期前にホットラインを構築、R1年度出水期前に内容を拡充しており、対象河川について、ホットラインによる情報提供を行っている。	～R2年度		ホットライン構築済み	H30年度	ホットライン構築済	H30年度	ホットライン構築済	H30年度	ホットライン構築済み	R1年度	ホットライン構築済	R1年度
				R3年度～	継続実施	継続実施		今後も引き続き、ホットラインによる情報提供を行う	R3年度～	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	
実施状況	実施状況	メディア連携分科会を設置する、メディア連携施策のフォローアップ	岡山河川事務所公式Twitterを開設	R元年度																
				R3年度～	継続的な情報発信	R3年度～														

項目	事項	内容	状況	美作市		和気町		鏡野町		勝央町		奈義町		西栗倉村		美咲町		
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	
2)ソフト対策の主な取り組み「通り来る危機を認識した的確な避難行動のための取り組み」																		
■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等																		
	・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、定数シミュレーション(吉井川/金剛川)	実施状況																
		今後の予定																
	・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の作成・公表(岡山県管理区間)	実施状況																
		今後の予定																
	・広域避難計画の策定 ・広域避難体制の構築等	実施状況			未実施	H30年度					未実施	R2年度					未実施	R2年度
		今後の予定			未定	～R3年度					未定	～R3年度					広域的な避難の検討	R3以降
	・避難場所等の有効性の検証や広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知、及びまごまごハザードマップ整備	実施状況			未実施	H30年度					未実施	R2年度					未実施	R2年度
		今後の予定									未定	～R3年度					浸水区域、土砂災害区域の見直し結果を反映したハザードマップの整備	R3以降
	・要配慮者利用施設の避難計画の作成支援および訓練の促進	実施状況	要配慮者利用施設の指定	R2年度中	要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等を支援	H29年度～					防災計画に定められている施設(7施設)について、作成を促進	R2年度					防災計画に定められている施設について、個別計画の作成、訓練実施の啓発	R2～
		今後の予定	指定施設の避難確保計画策定訓練については、要請があった場合にその都度対応	R3年度～	未定	～R3年度					防災計画に定められている施設(7施設)について、作成を完了	R3年度					未作成の施設への説明、作成依頼	R3～
	・ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用	実施状況			未実施	H30年度					町ホームページからリンクを継続	R2年度	国交省、県のホームページへのリンク設定に加え、気象台の「気象友の会」自治体会員となり降水量・土砂災害の危険度把握能力を向上	R2年度			町ホームページに情報HPのリンク	R1年度～
		今後の予定									○ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用	～R3年度	継続予定	R3年度	継続実施	継続実施	継続実施	継続
・内水の排水活動に資するソフト対策	実施状況																未実施	R2年度
	今後の予定																地域自主防災を中心に内水想定ゾンの作成を推進	R3以降～
■情報の伝達・発信																		
・避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上	実施状況	台風接近等に合わせその都度検証し作成	R1年度	台風接近時には、気象台が発表する情報を説明会で確認し、県と協同でタイムラインを作成している。	H30年度～	風水害に関するタイムラインを作成済 タイムラインの精度向上	R1年度 R2年度			台風接近等に合わせ作成	R1年度	台風タイムラインの作成(10号、19号)(R1.8、R1.10)	R1年度	作成済み		R1年度	安全な避難確保が行えるようなタイムラインへの見直しを実施	随時
	今後の予定	継続実施	継続実施	○避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上	～R3年度	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	R3年度	作成継続、精度の向上	継続実施	精度向上に向けて改良予定	継続実施	継続実施	継続実施	随時	
・多機関連携型タイムラインの拡充	実施状況	吉井川水害タイムラインの試行版を作成	R1年度	実施済み	R2年度					吉井川水害タイムラインの運用	R2年度						水害タイムラインの作成に向け、検討を進めた	R1年度～
	今後の予定	R2年度から本格的に運用するCATVと連携	R2年度	継続実施	R3年度～					継続運用	R3年度						継続実施	R3年度～
・タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練	実施状況	水害を想定した防災訓練の実施	R1年度	岡山県の実施する水害特別訓練へ参加	H30年度～					未実施	R2年度						未実施	R2年度
	今後の予定	現在、隔年で防災訓練を実施しているが、そのなかで水害を想定した防災訓練の実施	数年おきに実施	○タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練	～R3年度					未定	～R3年度						各種訓練への参加及び訓練	令和3年度～
・警報等に関連して危険度を色分けした時系列や「警報級の現象となる可能性」の情報提供開始及びメッシュ情報の充実化(地域に迫る危険の把握をサポート)等水害危険性の周知促進	実施状況																	
	今後の予定																	
・危険レベルの統一化等による災害情報の充実と整理、洪水予警報や水位周知情報の発表形式の見直し等を行う	実施状況																	
	今後の予定																	
・洪水時における河川管理者からの情報提供(ホットラインの構築)	実施状況	ホットライン構築済	H30年度	ホットライン構築済	H30年度	ダム関係者との情報提供の確立	R2年度			ホットライン構築済	H30年度	ホットライン構築済	H30年度	ホットライン構築済	H30年度	ホットライン構築済	ホットラインは構築済	H30年度～
	今後の予定	継続実施	毎年度	引き続き実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	R3年度	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
・メディア連携分科会を設置する、メディア連携施策のフォローアップ ・ネット環境からの情報発信	実施状況																	
	今後の予定																	

項目	事項	内容	状況	中国地整		気象庁		岡山県		岡山市		津山市		備前市		瀬戸内市		赤磐市			
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期		
2)ソフト対策の主な取り組み	■防災教育や防災知識の普及	・水防災に関する説明会、出前講座を活用した講習会の開催	実施状況	水防災に関する講習会や出前講座を複数回実施	R2年度	関係機関と連携し、効果的な対応を検討する	H29年度～	出前講座等を利用し、防災知識の普及や啓発活動を実施	H29年度～	出前講座等における防災情報をする中で、水防災意識社会に関する情報を提供	R2年度	自主防災組織や各種団体の会合において出前講座等を実施	R2年度	水防災に関する防災訓練、出前講座を活用した講習会の開催実施済み、特に自主避難体制の強化を図る内容とした	R2年度	吉井川水系に係る浸水想定区域の説明を実施済み 図上訓練の実施済み	H29年度	出前講座で実施 非常食の体験試食を実施済み	R1年度 R2年度		
			今後の予定	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	引き続き、出前講座等を活用し、防災知識の普及や啓発活動を実施する	継続実施	継続実施	R3年度	継続実施	継続実施	実施予定	継続実施	引き続き出前講座などで市民に対して啓発を行う	継続実施				
			実施状況	マイ・タイムライン検討ツール「逃げキッド」を作成済	R元年度	教育委員会等と連携し、効果的な対応を検討する	H29年度～	小学校の低・高学年それぞれの特徴に合わせた「防災ワークシート」を作成して県内小学校に配布し防災教育の促進に努めた	R1年度	中学校において全校生徒を対象とした出前講座を実施(1校) 市立学校への学校安全アドバイザー派遣を実施	R2年度	小中学校において、防災に関する講演、施設見学、避難訓練等、防災教育を実施済み	R2年度	幼稚園、保育園、小学生、中学生を対象とした防災訓練への参加済み	R2年度	教職員を対象とした防災研修の実施、小学生を対象とした防災授業の実施	H29年度～	キラリ安全フェスティバルを開催し、気象台にも参加いただき、気象台ブースにて啓発を行っていた 防災授業を小学校で実施	H28年度～ R1年度 R2年度		
		今後の予定	意識醸成につなげるため、講習会等を実施	継続実施	継続実施	継続実施	防災ワークシートの電子データ化を検討する	継続実施	130校実施予定	～R3年度	継続実施	継続実施	防災教育の実施	継続実施	実施予定	継続実施	防災授業を引き続き実施	継続実施			
		実施状況	小学生を対象とした防災教育を3回実施	R2年度																	
		今後の予定	継続実施	継続実施																	
		実施状況	スマートフォン等によるプッシュ型洪水情報の発信	R2年度																	
		今後の予定	継続実施	継続実施																	
		実施状況	水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供	R2年度																	
		今後の予定	継続実施	継続実施																	
		実施状況	「効率的な水防災意識社会」再構築に役立つ広報や資料の作成	R2年度																	
		今後の予定	継続実施	継続実施																	
実施状況	・災害を風化させないために河川に関するイベントや防災訓練等を実施して、住民が河川や堤防に関心を持つ取組を積極的に行う																				
今後の予定																					
2)ソフト対策の主な取り組み 2)災害特性に応じた効果的な水防活動																					
■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化																					
2)ソフト対策の主な取り組み	■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化	・水防団等が参加する洪水に対するリスクが高い区間の共同点検	実施状況	コロナ禍のため、未実施	R2年度	河川事務所が実施する共同点検に参加	H29年度～														
			今後の予定	継続実施	R3年度～	未定	R3年度～														
		・関係機関が連携した実働水防訓練の実施	実施状況	水防技術講習会を実施	R2年度	関係機関等の要請に基づき、水防管理団体が訓練を支援	H29年度～	関係機関の連携による風水害特別防災訓練(図上・実働訓練)および水防技術向上に資する岡山県水防技術講習会を実施した	～R2年度	毎年、6月に水防訓練を実施(R2年度はコロナの影響で中止)	R1年度	隔年で津山市総合防災訓練を実施(R1年度は岡山県総合防災訓練の一環として実施)	R1年度	実施済み	H28年度～	実施済み	H28年度	市の職員を中心に資機材を使った水防訓練を実施 岡山県水害特別防災訓練に参加して図上訓練、専任自主防災組織実働訓練を実施 赤磐市総合防災訓練を実施	H30年度 R2年度 R1年度 R3年度		
			今後の予定	水防演習や各自治体の訓練に積極的に参加	R3年度～	継続実施	R3年度～	出水期前に訓練を実施し、風水害に対する応急対応力の向上を図る	継続実施	継続実施	継続実施	訓練実施予定	R3年度	関係機関が行う水防訓練へ参加	継続実施	引き続き実施	継続実施	引き続き実施	継続実施		
		・水防活動の担い手となる水防団員の募集及び水防協力団体の募集・指定を促進 ・水防に関する広報の充実(水防団確保に係る取組)	実施状況	岡山河川事務所HPに水防団員を募集している旨の記事掲載済み	継続実施																
			今後の予定	継続実施	継続実施																
		・市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達等の充実及び機能確保のための対策の充実(耐水化、非常用発電等の整備)	実施状況	災害拠点病院の洪水対策検討会にオブザーバーとして参加し、技術的助言を行った	R2年度																
			今後の予定	引き続き、技術的助言を行う	R3年度～																
		・地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	実施状況	地域の建設業者による水防支援体制構築済	継続実施																
			今後の予定	継続実施	R3年度～																
		2)ソフト対策の主な取り組み 3)長期化する浸水を一日も早く解消するための排水対策																			
		■排水計画(案)の作成および排水訓練の実施																			
2)ソフト対策の主な取り組み	■排水計画(案)の作成および排水訓練の実施	・排水機・樋門・水門等の情報共有を行い、大規模水害を想定した排水計画を検討及び訓練の実施	実施状況	作成した排水計画を被災協会で共有し、関係市町に送付済	R2年度																
			今後の予定	作成した排水計画を基にした訓練の実施	R3年度～																
2)ソフト対策の主な取り組み	■排水計画(案)の作成および排水訓練の実施	・排水機・樋門・水門等の情報共有を行い、大規模水害を想定した排水計画を検討及び訓練の実施	実施状況	作成した排水計画を被災協会で共有し、関係市町に送付済	R2年度																
			今後の予定	作成した排水計画を基にした訓練の実施	R3年度～																

項目	事項	内容	状況	美作市		和気町		鏡野町		勝央町		奈義町		西栗倉村		美咲町					
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期				
1)	■防災教育や防災知識の普及	・水防災に関する説明会、出前講座を活用した講習会の開催	実施状況	各団体からの要請により実施	R1年度	実施済み 町内イベントに防災ブースを出展	H29年度	防災イベントの開催(1回) 防災イベントの開催(中止)	R1年度 R2年度	登録型防災メールの普及啓発継続	R2年度						自治会、ケア会議等での出前講座などを実施	年間			
			今後の予定	継続実施	毎年度	実施予定	継続実施	実施予定	R3年度	継続実施	R3年度							出前講座などを活用しながら、防災意識向上を実施していく。	随時		
		・教員を対象とした講習会の実施、小学生を対象とした防災教育の実施	実施状況	実施済み	R1年度	小中学校で防災に関する授業を実施済み	H29年度	教員を対象に実施(1回) 出張防災講座の開催(2小学校)	R1年度 R2年度	教育関係と連携し教職員への防災研修	R2年度							中学校区での危険箇所の把握及び非常時の訓練など	R2年度		
			今後の予定	継続実施	毎年度	引き続き実施	継続実施	継続実施を検討する		継続実施	R3年度							小学生を対象とした、消防団による防災教育などを実施	随時		
		・指導内容に合わせた教材等の作成支援	実施状況																		
			今後の予定																		
		・スマートフォン等へのプッシュ型洪水情報等の発信	実施状況	登録型防災メール、アプリの活用	R1年度	実施済み	H29年度	登録制メール配信事業の啓発継続 登録制メール配信システム強化見直し	R1年度 R2年度	登録型防災メールの普及啓発継続	R2年度								未実施	R2年度	
			今後の予定	普及促進	毎年度	〇スマートフォン等へのプッシュ型洪水情報等の配信	～R2年度	継続実施	継続実施	継続実施	R3年度								未定	未定	
		・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供	実施状況	水位計10台、河川監視カメラ19台市HP、アプリ、CATVデータ放送で配信	R1年度			河川監視カメラ7カ所稼働中 量水票の更新(1カ所) 河川監視カメラ機器メンテナンス	R1年度 R2年度	町内2箇所に河川監視カメラを設置しHPで映像公開	R2年度										
			今後の予定	継続実施	毎年度			河川監視カメラ機器メンテナンス継続	R3年度～	継続実施	R3年度										
		・効率的な「水防災意識社会」再構築に役立つ広報や資料の作成	実施状況	出前講座、広報紙へ特集記事の掲載 CATVで啓発	R1年度	出前講座等を利用し、防災知識の普及啓発活動を行う	H29年度			ポスター掲示	R1年度							ポスター掲示	R2年度	ポスターの掲示 広報紙での啓もう活動	R2年度
			今後の予定	継続実施	継続実施	実施予定	～R2年度			継続実施	継続実施						ポスター掲示	継続実施	継続実施	継続	
		・災害を風化させないために河川に関するイベントや防災訓練等を実施して、住民が河川や堤防に関心を持つ取組を積極的に行う	実施状況	防災講話等で過去の災害を紹介	R1年度	町内イベントに防災ブースを出展	H29年度	過去の災害箇所の石碑を自然災害伝承碑に登録	R1年度 R2年度	未実施	R2年度	防災訓練の実施(R2.11)	R2年度	コロナ禍を受け「今日はおうちで防災訓練！」を実施防災訓練期間に合わせ、中央公民館に防災特設コーナーを設置(関連書籍や防災グッズ展示、来場者が自由に書き込める「平成30年7月豪雨～私の記憶～」設置)	R2年度	未実施				R2年度	
			今後の予定	継続実施	毎年度	水辺の美校等での展示を検討	R2年度	検討中	未定	自主防災組織等と連携した訓練実施	R3年度	防災訓練の実施(R3.11)	R3年度	未定	未定	未定	未定	地域での防災訓練や学習会での地域での災害の継承を随時	R3年度～		
		2)ソフト対策の主な取り組み 2)災害特性に応じた効果的な水防活動																			
2)	■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化	・水防団等が参加する洪水に 対しリスクが高い区間の共同 点検	実施状況			河川事務所が実施する共同点検 に参加	H29年度														
			今後の予定				河川事務所が実施する共同点検 に参加	～R3年度													
		・関係機関が連携した実働水 防訓練の実施	実施状況	隔年で総合防災訓練を開催	隔年	実施済み	H28年度		地区防災計画策定に当たり地区、 消防団等と連携し防災重点ため池 等の確認、土のう作成訓練実施	R2年度	未実施	R1年度						未実施	R2年度		
			今後の予定	総合防災訓練を実施予定	R3年度	引き続き実施	継続実施		総合防災訓練実施予定	R3年度	R3年度実施予定	R3年度						ポスター掲示	R3年度		
		・水防活動の担い手となる水 防団員の募集及び水防協力団 体の募集・指定を促進 ・水防に関する広報の充実(水 防団確保に係る取組)	実施状況	実施済み	R1年度	実施済み	H28年度			ポスター掲示	R2年度	消防団と連携 水防月間ポスターの掲示等による 広報を実施	R1年度					ポスター掲示他	継続		
			今後の予定	主に団員や学校を通じて広報	R3年度	今後もホームページや広報誌等で 募集を継続する。	継続実施		継続	R3年度	継続実施	継続実施						継続実施	継続		
		・市町村庁舎や災害拠点病院 等の施設関係者への情報伝 達の実施及び機能確保のため の対策の充実(耐水化、非常 用発電等の整備)	実施状況				R2年度	役場本庁舎への非常用発電設備 設置(72時間、ディーゼル方式)		未実施	R2年度							未実施	R2年度		
			今後の予定				～R3年度			未定	R3年度							未定	未定		
		・地域の建設業者による水防 支援体制の検討・構築	実施状況	建設業協会美作支部等と協定締結	H19年度	未実施	H30年度	新規協定なし		岡山県建設業協会美作支部との 間で協定締結し支援体制構築済	R2年度	岡山県建設業協会美作支部、三共 リース津山営業所との間で協定締 結し支援体制構築済	R1年度					建設業協会等との防災協定	継続		
			今後の予定	今後も引き続き、新たな支援団体 があれば協議、検討していく		未定	～R3年度	今後も引き続き、支援協定をいた だけの団体と協定締結に向けて検 討を実施		R2年度までに実施済みのため、今 後は実施予定なし		R2年度までに実施済みのため、今 後は実施予定なし						継続実施	継続		
		2)ソフト対策の主な取り組み 3)長期化する浸水を一日も早く解消するための排水対策																			
		2)	■排水計画(案)の作成および排水訓練の実施	・排水機場・樋門・水門等の情 報共有を行い、大規模水害を 想定した排水計画を検討及び 訓練の実施	実施状況	未実施	R2年度	未実施	H30年度			未実施	R2年度						未定	未定	
					今後の予定	未定	未定	未定	～R3年度			未定	～R3年度							未定	未定